

「日本独自の創作ジャンル「異世界転生もの」」（武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 コラボレーション講座、令和8年6月27日）

複数の埼玉県内の高等学校と協定を締結した講座。一般に「異世界（もの）」は知られているものの、一般的な国語辞典には掲載はされていないが、「異界」「別世界」「パラレルワールド」は掲載されていること確認後、ネット上やライトノベルの「異世界」の設定を確認した。その後英語になった「異世界」、「isekai」の定義を確認した。

最近の「異世界もの」は「1 同じ人間として生まれ変わる。（異年齢含む）」「2 他の人間（性別の変換含む）に生まれ変わる。」「3 他の生物に生まれ変わる。」「4 非生物に生まれ変わる。新発想！」を紹介した。仏教文化が根底にある日本は転生ものは受け入れ安いものの、非生物に転生するのはこれを明確に越え、全く新しい発想であること、また、勇者召喚から生き直しスローライフを過ごす内容への変容をを現代社会の変化と併せて紹介した。